

10.10へ総力で決起しよう

日刊 動労千葉

84. 9. 22

No. 1749

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

成田用水 9/25 着工を許すな

動労千葉第9回定期大会は、切迫化する反動・中曽根内閣による超反動攻撃に真向から対決する方針を決定し成功裡に終了しました。

「国鉄・三里塚を基軸に反動・中曽根を打倒する」方針の確立とともに、当面する10・10三里塚現地集会に「3・25五割動員」の圧倒的勝利をうわまわる空前の決起を闘いすることが確認されました。

絶望的ゆえにますます凶暴化した二期・用水攻撃を粉碎しよう

韓国・全斗煥強行来日に史上空前の警戒体制をしいた中曽根は、権力機動隊を三里塚現地に移動させ、去る五月以降、反対同盟の実力決起と、三里塚闘争を闘う全支援の22波のたたかいで完全においつめられた菱田地区「成田用水」の着工を、9月25日を焦点にし、強行しようとしています。

また去る8月27日、二期用の予算計上で、とりわけ敷地内農民を中心とする反対同盟にたいして機動隊四八〇〇名の常駐宿舍建設予算28億円（二期予算計上の中でだんとつ）を組み入れてきています。このことにみられるように、つまり、反対同盟農民に対して、四八〇〇名にも及ぶ大量の権力・機動隊で、大木よねさんと同様虐殺もいとわないという凶暴な体制をとったと言えます。

その突破口として、9月25日を焦点とした「成田用水」強行攻撃をすえてきたのです。

反対同盟農民は、十九年間にもわたって、政府・空港公団・権力と真向から実力で闘いぬぎ、いまなお血を流し、生命をかけて闘い、勝利的前進をかちとってきています。これに対して絶望的危機に陥った政府・空港公団・権力は、中曽根を先頭とした機動隊による凶暴な暴力で襲いかかっています。

われわれは、反対同盟農民を徹底的に防衛し、二期工事を実力で阻止しなければなりません。それは、この攻防が真正銘の階級決戦だからなのです。この支配階級の正体を表わした凶暴な攻撃を看過することは、われわれ自身粉碎されることを意味しているからです。

勝利の確信をもって「10・10」へ

さらに中曽根による、首切り「三本柱」＝国鉄労働運動解体攻撃は、「三本柱」のうち「退職勧

奨」を突破口に今秋から「60・3」に向って具体的首切り攻撃を開始しています。

このように「三里塚」「国鉄」に対し同時並行的に攻撃をくわえるところを反動・中曽根にとつて「戦後政治の総決算」のポイントをなす最大の弱点であるからなのです。

従ってわれわれは、この闘いで必ずや、中曽根を打倒する勝利の展望に絶対的確信をもち、全力をあげて闘いに決起しようではありませんか。

われわれの未来は、この闘いにいかに総決起するにかかっているのです。

「10・10」へ、われわれ自身の未来！とりわけ国鉄労働運動の未来をかけて、不退転の決意で総決起しようではありませんか。



「用水粉碎！着工阻止！」のかけ声が終日菱田にこだました。降りしきる雨をついて2000名のデモを貫徹。(9.16現地叩き)

当面するサークル協行事

9月27日 第二回ゴルフ大会（雨天決行）
場所Ⅱかずさ・カントリークラブ
10月1日 第6回テニス大会（軟式）
場所Ⅱ白子町・カネイ荘
11月3日 第六回団結祭典